

看護学部
OKUNO Shigeyo
PROFILE
職名
看護学部 看護学科教授 学術情報部長
学歴
筑波大学大学院教育研究科 カウンセリング専攻修士課程 修了（1991）
学位
教育学修士（筑波大学、 1991）
所属学会
日本看護科学学会、日本看護福祉学会、日本老年行動科学学会、日本老年看護学会、日本赤十字看護学会、日本看護研究学会、日本高齢者虐待防止学会
専門分野
看護学、老年看護学

## 奥野 茂代

おくの しげよ

**研究課題1●高齢者のヘルスプロモーション**

**研究課題2●高齢者の終末期ケア**

**研究課題3●認知症高齢者の看護**

**業 績**

**【著書】**

『ケアの質を高める看護カウンセリング第1版6刷』／「6.継続教育における自己理解のための体験学習」、医歯薬出版、2006年10月、共著。

『ナースのための自己啓発ゲーム第1版3刷』／「第1章 1.なぜ自己啓発が必要か」「4.自己啓発の研修の企画・運営にかかわる人の役割」「第2章ゲーム（27ゲーム）」「第3章 研修におけるゲームの進め方2,3,4」、医学書院、2005年3月、共編。

『基礎看護技術第3版1刷』／「2.カウンセリング」、メディカ出版、2011年1月、共著。

『老年看護学（概論と看護の実践）第4版5刷』／「第Ⅰ編 第2章 老化とは」「第3章 長寿を生きる社会生活の条件」「第5章 老年看護の実践」、ヌーヴェルヒロカワ、2011年1月、共編。

『老年看護技術 第2版3刷』／「アセスメントのための看護技術」「コミュニケーション」「エンパワメントを高める看護技術」「安全、感染に対する看護技術」、ヌーヴェルヒロカワ、2010年11月、共編。

『認知症高齢者の看護第1版2刷』／「Ⅳ認知症高齢者に関連する保健・医療・福祉制度」医歯薬出版、2010年1月、共編。

**【学術論文】**

‘Elderly Japanese People Living in Small Towns Reflect on End of Life Issues’／“Nursing Ethics”6(4)、1992年10月、共著。

「高齢者のヘルスプロモーションと看護」／『日本老年看護学』5(1)、2000年11月、単著。

‘Social support and end-of-life issues for small town Japanese elderly’／“Nursing and Health Sciences”（2000）2、2000年11月、共著。

「高齢者のヘルスプロモーション―高齢者の長寿信念に対するグループアプローチとその効果―」／『高齢者のケアと行動科学』7(2)、2000年12月、共著。

「農村地帯の日本人高齢者が考える自からの終末期」／『看護倫理（倫理・実践・研究）』、2002年4月、共著。

「老年看護における高齢者観の再考」／『日本老年看護学会誌』Vol.7.1、2002年11月、単著。

**【翻訳】**

『進歩する看護実践；専門職としての指針』(Mariah Snyder編 Michaelene P. Mirr著)／「13章 Consultation in Advanced Practice Nursing：APNのコンサルティング業務」、へるす出版、1997年6月、共著。

**【国内学会発表】**

「農村地域における高齢者の死に対する認識」／第17回日本看護科学学会（神戸）、1997年12月、共著。

「高齢者のヘルスプロモーション：前期高齢者の健康習慣と長寿に対する信念」／第18回日本看護科学学会（札幌）、1998年12月、共著。

「前期高齢者の長寿信念に関するグループアプローチとその効果」／第2回日本老年行動科学学会（青森）、1999年4月、共著。

「高齢者の長寿に関する関心―グループワークの内容分析から」／第4回日本老年看護学会（長野）、1999年11月、共著。

「高齢者のヘルスプロモーションと看護」／第4回日本老年看護学会（長野）(会長講演)、1999年11月、単著。「グループアプローチによる高齢者の役割に対する時間的展望」／第5回日本老年看護学会学術集会（津市）、2000年11月、共著。

「前期高齢者の役割に対する時間的展望と長寿に対する信念」／第20回日本看護科学学会学術集会（東京都）、2000年12月、共著。

「配偶者と死別した高齢者の心―高齢者へのサポートグループにおける会話の内容分析から―」／第6回日本老年看護学会学術集会（金沢市）、2001年10月、共著。

「高齢者の自己効力感と役割に対する時間的展望」／第21回日本看護科学学会学術集会、2001年12月、共著。

「高齢者の自己効力感と長寿に対する信念」／第7回日本老年看護学会学術集会、2002年11月、共著。

「高齢者のヘルスプロモーションをめざしたグループアプローチの効果―量的データの分析から―」／第22回日本看護科学学会学術集会、2002年12月、共著。

「介護施設における看護職の終末期ケアに関する認識」／第23回日本老年行動科学学会学術集会、2003年7月、共著。

「地域で暮らす高齢者の死に対する考え方とセルフエフィカシー―時間的展望―」／第8回日本老年看護学会学術集会、2003年11月、共著。

「介護施設利用高齢者に対する終末期ケア―看護職者の取り組みと課題」／第23回日本看護科学学会学術集会、2003年12月、共著。

「高齢者ケア施設における教育・研修に関する研究（第4報）―実地研修の成果と課題―」／第23回日本看護科学学会学術集会、2003年12月、共著。

**【国際学会発表】**

‘Wandering Behaviour Demented Elderly ― Nursing Intervention in Japan’／第21回国際看護婦協会（ICN）大会（カナダ・バンクーバー）、1997年6月、共著。

‘MRSA Contamination Control Nursing Homes for The Elderly in Japan’／Third International Nursing Research Conference：JANS、1998年9月、共著。

‘Group approach for successful aging of Japanese elderly people - Strategy of group approach and role of nurses’／(国際看護婦協会（第22回ICN）会議シンポジウム（コペンハーゲン市）、2001年6月、共著。

‘Group approach for successful aging of Japanese elderly people - The interests and experiences of group members and the evaluation of the group’／ICN22nd Quadrennial Congress 国際看護婦協会（第22回ICN）会議シンポジウム（コペンハーゲン市）、2001年6月、共著。

**【その他】**

<記事>「リーダーシップと自己啓発ゲーム」／『Human』Vol.8、関西看護出版、2003年12月、単著。